

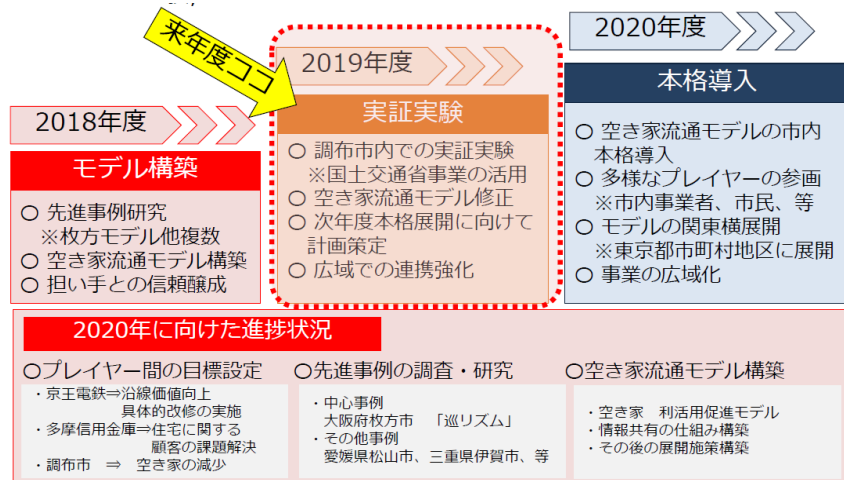
調布市における空き家流通促進モデルの構築(東京都調布市)

課題と目的	首都圏においても増加傾向の空き家予防の課題を背景に、「空き家の新たな市場流通の可能性」について、市場価値の高い首都圏ならではの長所を活かし、空き家の発生抑制に着目した地域特性に基づくプラットフォームの構築を目指す。
取組内容	新たな市場流通の推進と利活用の可能性を検討し、行政をはじめ、地域のインフラを担う各事業者と共に検討と協議を重ね、具体的な構想を策定。
成果	・3年を全期間とした事業構築ステップ。 ・「長期プラン」及び「2019年度アクションプラン」を策定。

1. 事業構築ステップ案 (新たな情報共有体制と連携構築に向けた取組)

⇒ 本事業では、今後の調布市空き家流通 モデル構築に向けて、本年度を含む3か年計画を策定した。3か年計画における基本的な考え方は、以下の3点である。

1. 単年度ではなく、3年全体で考える
2. 3年間にわたりテストマーケティングを行う
3. 行政、金融、電鉄の役割分担を変化させていく



2. 2019年度アクションプラン

本事業は、最終的に民間事業者による空き家の抑止を目指す

【2019年度事業のポイント】

⇒年度を通じて、本事業の調布市、京王電鉄、多摩信用金庫の3者間の連携を強化し、かつ具体的な事業を開始する。

